

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	いずみ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 26 年 1 1 月 1 9 日

総 評	<p>宇治市の北部、京都市伏見区と隣接した場所にあるいずみ保育園は、昭和 58 年 4 月に開園し、周辺は団地や高層住宅が立ち並び、都市近郊にありながら農村景観が豊かに残る立地環境にあります。</p> <p>「元気に遊べる子」「優しく思いやりのある子」「力いっぱいがんばる子」を保育目標とし、自分から興味を持って働きかけようとする意欲を醸成し、基本的な生活習慣を身につけ健康な生活を営む力を育む保育の実践に努めています。また、食育活動を中心に課外活動としてピアノ・スポーツ教室など様々な取り組みを行っています。</p> <p>放課後児童健全育成事業や一時預かり事業、家庭的保育事業をはじめ、地域の子育て支援事業として様々な活動に取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で公開保育を行ったり、保護者アンケートを活用するなどして、保育の質の向上に取り組んでいます。 ・園庭には季節を感じる木々の緑や菜園などがあり、子どもたちが、野菜の栽培や収穫した野菜を利用したクッキング保育などの体験が出来るよう取り組んでいます。 ・一時預かりや園庭開放など地域の子育て支援に積極的に取り組んでいます。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程の編成や自己評価の取り組みを職員全体で取り組まれるとなお良いでしょう。 ・管理規程に利用者の記録に関する項目を整備されるとなお良いでしょう。 ・障害児保育については、バリアフリーの配慮は見受けられましたが、子どもの特性に合わせた保育内容、方法の計画を立てられ、職員間で共有することが望ましいでしょう。

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	いずみ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成26年11月19日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	B
I-2 計画の策定	I-2-2(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-2(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	B
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・保育理念、基本方針、目標が、園のパンフレットや園だより等を利用し、広く公開されています。
- ・保育理念や保育方針・保育目標は、年度当初に職員に提示され、その後も会議やミーティング等の場で園長や主任が継続的に伝えています。
- ・保育課程を編成する上で、年に3回保護者に対して保育内容や行事に対するアンケート調査を行うことで、保護者の意向を把握する努力をされています。
- ・保育課程の評価や見直しについては、園長や主任等を中心に行われていますが、職員全体が参加して行うとなお良いでしょう。
- ・保育課程について、職員へは会議等で周知を図っていますが、保護者へも行事や配布物等を利用して分かりやすく説明を行うとなお良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	③ 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	B	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	B
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

- ・園長は、市内の園長会等で、保育制度問題や子育て環境の情報を集めるなど、事業経営をとりまく環境を把握しています。
- ・園長は、職員と年1回個別面接の機会を設け、職員の就業状況や意向を把握するように努めています。
- ・職員が職務に対して悩みなどがあった場合の相談窓口として、主任が相談に応じる体制をとっています。そのことが書面化された資料があるとなおよいでしょう。
- ・研修の中でも園内研修を月1回以上実施されており、職員の質向上に積極的に取り組まれています。
- ・職員の質向上のために、公開保育を自発的に行っており、園内研修につなげています。
- ・地域の子育て支援のため、園庭開放の機会に様々な取り組みを行っており、保育所の機能を地域に還元しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-1(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-1(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-1(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	B	B
	Ⅲ-3-1(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	B

[自由記述欄]

- ・ プライバシー保護についての規程、マニュアルや苦情解決の仕組みを整備しています。
- ・ 行事ごとに保護者からアンケートを取ったり、意見箱を設置し、保護者からの意見や苦情に対しては迅速にフィードバックして、保育の改善に反映しています。
- ・ 年1回自己評価を行い、その結果をふまえて、職員間で分析され改善に向けた取り組みをしています。
- ・ 管理規程に利用者の記録に関する項目を整備されるとなおいでしょう。
- ・ 利用希望者に対して、ホームページや「園のしおり」などで、情報を発信・提供しています。
- ・ 入園の際に説明会を行い、保育サービスや諸経費についても、保護者等が理解しやすいように工夫されていますが、書面で残されるとなおいでしょう。
- ・ 転園、卒園にあたり保育の継続性に配慮し、保護者の意向に応じて対応をされていますが、その内容等について保護者等に文書を交付するとなおいでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

[自由記述欄]

- ・健康管理マニュアルが作成されており、さらに、食物アレルギーや特に配慮が必要な既往症をもつ子どもの一覧表を作成し、職員全員が共有できるよう工夫をしています。
- ・健康診断、歯科健診の結果は「けんこうのきろく」によって保護者に知らせ、必要に応じて会議で職員への周知と保育へ反映させています。
- ・感染症に関するマニュアルが整備されており、保護者に発生状況、注意事項や予防策を通知しています。
- ・子どもの食育において、すくすくランドの畑やプランターでの野菜の栽培など園の環境を十分に活かした体験を年間を通じ行っています。また、収穫した野菜などを利用してクッキング保育を行っています。さらに、厨房の職員が積極的に保育室に出向き、収穫した食物の話や料理などの話をするなど連携をとって進めています。
- ・子どもが安心して心地よく過ごすことのできる環境づくりに配慮されており、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応し、温かく受容するよう心がけています。
- ・子ども達が、自由に好きな絵本を見ることができるよう絵本コーナーを設置したり、興味や関心に応じて自発的に活動できるよう玩具、遊具を整備しています。
- ・長時間保育においては、物的環境、自然環境が整備され、加えて人的環境である職員が一人ひとりの子どもに寄りそいながら言葉がけに配慮されており、職員間の引き継ぎが適切に行われています。
- ・障害児保育については、バリアフリーの配慮は見受けられましたが、子どもの特性に合わせた保育内容、方法の計画を立てられ、職員間で共有することが望ましいでしょう。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	B
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・送迎時に個別に情報交換を行い、乳児は毎日の連絡帳により日常的な個別の対応を取っています。また、年に1回は個別懇談を行い、それらの記録は個人記録に残し引き継がれています。

・懇談会やお誕生日の保育参加などを通して、保護者との共通理解を図っています。

・一時保育を利用している子どもの日々の状態を把握され、継続的に利用しやすいように記録をしっかりと取っています。また、個々に配慮しながら、通常保育との交流も行っています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

・調理室の衛生については、姉妹園と情報交換を行いながら定期的に衛生管理や食中毒マニュアルを変更、改訂し全職員に周知しています。

・毎月事故防止のチェックリストを活用し、事前に事故防止に取り組めるよう職員間で連携を取っています。

・事故や災害等の発生時における対応マニュアルや不審者対応のマニュアルはすべて整備されています。

・通用門の開門時間も決めておられ、通用門の開錠番号も定期的に変更する等、不審者の対応マニュアルを職員間で周知しています。